

(様式例第11)

青森労病発第555号
令和5年10月3日

青森県知事 殿

住 所 青森県八戸市白銀町字南ヶ丘1番地
申請者
氏 名 玉 澤 直 樹

青森労災病院の地域医療支援病院の業務報告について

標記について、医療法第12条の2の規定に基づき、令和4年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒211-0021 神奈川県川崎市中原区木月住吉町1番1号
氏名	独立行政法人 労働者健康安全機構

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名称

独立行政法人 労働者健康安全機構 青森労災病院

3 所在の場所

〒031-8551 青森県八戸市白銀町字南ヶ丘1番地	電話 (0178) 33 - 1551
-------------------------------	-----------------------

4 病床数

精神病床	感染症病床	結核病床	療養病床	一般病床	合計
床	床	床	床	300床	300床



5 施設の構造設備

施設名	設備概要
集中治療室	(主な設備) 病床数 6床
化学検査室	(主な設備) 生化学自動分析装置2台、総合血液検査装置、血液凝固自動分析装置、血糖自動分析装置、グリコヘモグロビン測定装置、自動免疫測定装置
細菌検査室	(主な設備) 細菌自動分析装置、安全キャビネット、培養装置、遠心機、顕微鏡、冷蔵庫
病理検査室	(主な設備) 凍結組織切片作製装置、医用写真撮影装置、パラフィン自動固定包埋装置、パラフィン溶融器、全自動染色装置、滑走式マイクローム、蛍光顕微鏡、写真顕微鏡、超低温フリーザー
病理解剖室	(主な設備) 解剖台、床埋込式体重計、臓器撮影装置、解剖用具一式
研究室	(主な設備) 医局にコピー機、ネット上で文献検索可能
講義室	室数 4室 収容定員 大会議室100人、小会議室30人 第2会議室18人、患者講義室16人
図書室	室数 1室 蔵所数 和書9,705、洋書1,938、その他57冊程度
救急用又は患者搬送用自動車	(主な設備) 保有台数 1台
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床面積 18.8㎡ [共用室の場合]

(注) 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器等を記入すること。

(様式例第12) 他の病院又は診療所から紹介された患者に対し医療を提供する体制が整備されていることを証する書類及び救急医療の提供実績

1. 地域医療支援病院紹介率及び地域医療支援病院逆紹介率

地域医療支援病院紹介率	65.2%	算定期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日
地域医療支援病院逆紹介率	45.4%		
算出根拠	A：紹介患者の数		5,262人
	B：初診患者の数		8,074人
	C：逆紹介患者の数		3,664人

(注) 1 「地域医療支援病院紹介率」欄は、AをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。

(注) 2 「地域医療支援病院逆紹介率」欄は、CをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。

(注) 3 それぞれの患者数については、前年度の延数を記入すること。

(様式例第13) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

No.	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考
1	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	※救急部門として 設置がないため、 重症者の疾病によ り各医師が担当。
2	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	
3	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	週40時間
4	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	週40時間
5	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	週40時間
6	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	週40時間
7	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	週40時間
8	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	週40時間
9	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	週40時間
10	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	週40時間
11	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	週40時間
12	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	週40時間
13	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	週40時間
14	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	週40時間
15	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	週40時間
16	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	週40時間
17	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	週40時間
18	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	週40時間

19	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	週40時間	
20	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	週40時間	
21	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	週40時間	
22	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	週40時間	
23	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	週40時間	
24	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	週40時間	
25	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	週40時間	
26	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	週40時間	
27	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	週40時間	
28	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	週40時間	
29	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	週40時間	
30	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	週40時間	
31	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	週40時間	
32	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	週40時間	
33	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	週40時間	
34	歯科医師		常勤 非常勤	専従 非専従	週40時間	
35	歯科医師		常勤 非常勤	専従 非専従	週40時間	
36	看護師		常勤 非常勤	専従 非専従	週40時間	※HCU病棟に配置している看護師。
37	看護師		常勤 非常勤	専従 非専従	週40時間	
38	看護師		常勤 非常勤	専従 非専従	週40時間	

39	看護師		常勤 非常勤	専従 非専従	週40時間	
40	看護師		常勤 非常勤	専従 非専従	週40時間	
41	看護師		常勤 非常勤	専従 非専従	週40時間	
42	看護師		常勤 非常勤	専従 非専従	週40時間	
43	看護師		常勤 非常勤	専従 非専従	週40時間	
44	看護師		常勤 非常勤	専従 非専従	週40時間	
45	看護師		常勤 非常勤	専従 非専従	週40時間	
46	看護師		常勤 非常勤	専従 非専従	週40時間	
47	看護師		常勤 非常勤	専従 非専従	週40時間	
48	看護師		常勤 非常勤	専従 非専従	週40時間	
49	看護師		常勤 非常勤	専従 非専従	週40時間	
50	看護師		常勤 非常勤	専従 非専従	週40時間	
51	看護師		常勤 非常勤	専従 非専従	週40時間	

2 重症救急患者のための病床の確保状況

優先的に使用できる病床	2床
専用病床	床

(注) 一般病床以外の病床を含む場合は、病床区分ごとに記載すること。

3 重症救急患者に必要な検査、治療を行うために必要な診療施設の概要

施設名	床面積	設備概要	24時間使用の可否
救急外来	97.9㎡	(主な設備) 救急蘇生装置、除細動器、呼吸循環監視装置等	可
2階北病棟 (集中治療部)	479.0㎡	(主な設備) 全6床、救急蘇生装置、除細動器、呼吸循環監視装置等	可
中央手術室	1,742.6㎡	(主な設備) 全6室、一般手術機器、麻酔機器等	可
	㎡	(主な設備)	
	㎡	(主な設備)	

4 備考

救急告示病院、八戸市救急医療施設病院群輪番制病院

(注) 特定の診療科において、重症救急患者の受入体制を確保する場合には、その旨を記載すること。
既に、救急病院等を定める省令(昭和39年厚生省令第8号)に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院、救急医療対策の設備事業について(昭和52年7月6日付け医発第692号厚生省医務局長通知)に基づき救急医療を実施している病院にあっては、その旨を記載すること。

5 救急医療の提供の実績

救急用又は患者輸送自動車により搬入した救急患者の数	965人 (299人)
上記以外の救急患者の数	1,864人 (191人)
合計	2,829人 (490人)

(注) それぞれの患者数については、前年度の延べ数を記入すること。

括弧内には、それぞれの患者数のうち入院を要した患者数を記載すること。

6 救急用又は患者輸送用自動車

救急用又は患者輸送用自動車	1台
---------------	----

(様式例第14) 地域医療従事者による診療、研究又は研修のための利用(共同利用)のための体制が整備されていることを証する書類

1 共同利用の実績

① 令和4年度共同利用医療機関延数 769件
 ② 上記①医療機関のうち、開設者と直接関係のない医療機関延数 769件
 ③ 令和4年度共同利用に係る病床の病床利用率 0.0%

(注) 前年度において共同利用を行った実績がある場合において、当該前年度の共同利用を行った医療機関の延べ数、これらの医療機関のうち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数、共同利用に係る病床の病床利用率を明記すること。

2 共同利用の範囲等

オープンシステム利用に係る病床、CT・MRI・RI等の機器及び図書室

(注) 当該病院の建物の全部若しくは一部、設備、器械又は器具のうち、共同利用の対象とする予定のものを明記すること。

3 共同利用の体制

- ア 共同利用に関する規定の有無 有・無
 イ 利用医師等登録制度の担当者 氏名:
 職種:

(注) 共同利用に関する規定が有る場合には、当該規定の写しを添付すること。

4 登録医療機関の名簿

医療機関名	開設者名	住 所	主たる診療科名	地域医療支援病院開設者との経営上の関係
別添のとおり				全ての医療機関との経営上の関係はない。

注 当該病院と同一の2次医療圏に所在する医療機関のみ記入すること。

常時共同利用可能な病床数	5床
--------------	----

(様式例第 15) 地域医療従事者の資質の向上を図るための研修を行わせる能力を有することの証明

1 研修の内容

<ul style="list-style-type: none"> ・市民公開講座（1回） ・地域連携セミナー（5回） ・薬剤部地域連携セミナー（6回） <p>※詳細は添付資料</p>
--

2 研修の実績

(1) 地域の医療従事者への実施回数	12回
(2) (1) の合計研修者数	267人

(注) 1 研修には、当該病院以外の地域の医療従事者が含まれるものを記入すること。

(注) 2 (2) には、前年度の研修生の実数を記入すること。

3 研修の体制

- ア 研修プログラムの有無 有 ・ 無
- イ 研修委員会設置の有無 有 ・ 無
- ウ 研修指導者

研修指導者氏名	職 種	診療科	役 職 等	臨床経験数	特 記 事 項
	医師	糖尿病内分泌内科		41年	プログラム責任者
	医師	消化器内科		25年	研修実施責任者
	医師	消化器内科		27年	
	医師	消化器内科		10年	
	医師	内視鏡科		37年	
	医師	糖尿病内分泌内科		30年	研修実施責任者
	医師	糖尿病内分泌内科		22年	
	医師	神経内科		44年	

研修指導者氏名	職 種	診療科	役 職 等	臨床経験数	特 記 事 項
	医師	健康診断部		32年	研修実施責任者
	医師	外科		37年	研修実施責任者
	医師	外科		35年	
	医師	外科		25年	
	医師	外科		22年	
	医師	心臓血管外科		17年	
	医師	整形外科		31年	研修実施責任者
	医師	整形外科		25年	
	医師	整形外科		21年	
	医師	形成外科		38年	
	医師	小児科		38年	研修実施責任者
	医師	泌尿器科		28年	研修実施責任者
	医師	泌尿器科		8年	
	医師	眼科		37年	
	医師	放射線科		40年	研修実施責任者
	医師	放射線科		39年	
	医師	病理		33年	
	医師	麻酔科		32年	研修実施責任者
	医師	麻酔科		33年	

(注) 教育責任者については、特記事項欄にその旨を記載すること。

4 研修実施のための施設及び設備の概要

施 設 名	床 面 積	設 備 概 要
大会議室	138.2㎡	(主な設備) 視聴覚システム一式
小会議室	69.1㎡	(主な設備) ホワイトボード、
第2会議室	37.8㎡	(主な設備) シャーカステン
患者講義室	26.0㎡	(主な設備) テレビ、ビデオ、シャーカステン

(様式例第16) 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	
管理担当者氏名	

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約		総務課 各科外来 各病棟 診療情報 管理室	日誌等・・・年度別月別管理 外来診療録・・・各科別分散管理方式 入院診療録・・・1患者1ファイル方式 X線写真・・・各科別1312方式
病院の管理及び運営に関する諸記録	共同利用の実績	地域連携室	年度別月別
	救急医療の提供の実績	看護部・医事課	年度別月別
	地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績	研修開催部署及び総務課	年度別月別
	閲覧実績	医事課・地域連携室・総務課	年度別月別
	紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績の数を明らかにする帳簿	地域連携室・医事課	年度別月別

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式例第17) 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

閲覧責任者氏名	
閲覧担当者氏名	
閲覧の求めに応じる場所	会議室、診療情報管理室
<p>閲覧の手続の概要</p> <p>○診療記録の閲覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・閲覧希望者は病院長宛にカルテ閲覧を希望する詳細の文書を送付。 ・文書に基づき院長決裁により閲覧が承諾された場合は、閲覧希望先に連絡し、閲覧日を決定。 ・当日所定の場所において診療記録の閲覧を行う。 <p>○病院の管理・運営に関する記録の閲覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・閲覧希望者は情報公開窓口（総務課）に法人文書開示請求書を労働者健康安全機構理事長あて提出する。 ・病院は開示請求書を本部に送付する。 ・本部において審査し、開示決定等を請求者に送付する。 ・申請者は開示が決定した場合、開示の実施方法等申出書を提出する。 	

前年度の総閲覧件数		3件
閲覧者別	医師	3件
	歯科医師	0件
	地方公共団体	0件
	その他	0件

(様式例第18) 委員会の開催の実績

委員会の開催回数	1回	(令和4年度は1年度を通じてコロナ禍のため、紙上開催1回のみとなっております。)
委員会における議論の概要		
<p>1 日時 令和5年2月</p> <p>2 場所 紙上開催</p> <p>3 議事録 コロナ禍のため、感染防止対策の一環として紙上開催となった。各委員へは事前に意見聴取し、その意見と院長からの回答と併せて資料を配布した。</p> <p>4 資料</p> <p>No.1 当院の八戸医療圏における位置づけ</p> <p>No.2 令和4年度運営状況</p> <p>No.3 委員からのご意見等</p> <p>(1) (からのご意見等</p> <p>(報告事項)</p> <p>令和4年10月18日、白銀公民会にて、市長との公民館サロン開催の前に新井田白銀線(労災病院通り)の道路拡張の進捗状況と一緒に見ていただき、その場にて、職員に工事を早めるよう指示をいただきました。その結果、第1期工事、令和5年1月6日～3月24日までに側溝の工事が終わります(佐川酒店の隣りまで)。これから順次粘り強く(第2期工事)行政にお願いしてまいります。</p> <p>なお、完成は令和7年度の予定と説明がありました。</p>		

(注) 委員会の開催回数及び議論の概要については、前年度のものを記載すること。

(様式例第 19) 患者相談の実績

患者相談を行う場所	相談窓口 相談室 ・その他 ()
主として患者相談を行った者 (複数回答可)	MSW2名 看護師8名 計10名
患者相談件数	令和4年度 6,938件
患者相談の概要	
<p>1 経済的・社会的問題の解決調整 生活費、医療費、在宅療養上の経費等確保のため、福祉、保険制度を利用して援助を行う。</p> <p>2 診療関係の援助</p> <ul style="list-style-type: none">①受診、転医に必要な移送等の措置を行う。②転医に伴う福祉事務所等関係機関との連絡調整を行う。③医療に参考となる事項を医師及び看護師に報告する。 <p>3 人間関係の調整</p> <ul style="list-style-type: none">①診療について過剰な期待を持っていることについて正しく理解を与える。②家族関係について援助する。③医師及び看護師の指示に従わない患者の指導を行う。 <p>4 心理情緒的問題援助</p> <ul style="list-style-type: none">①問題をともにしながら心理的励ましを行う。②医療に対する誤解などがあれば、正しい理解ができるように努める。 <p>5 社会復帰、退院援助</p> <ul style="list-style-type: none">①退院後の生活の場の確保について援助する。②社会復帰につながる訓練施設等の紹介を行う。③社会復帰に必要な家庭内の生活環境の改善を援助する。 <p>6 関係(者)機関との連携・協力</p> <p>年金事務所、保健所、福祉施設、監督署、職業安定所等の関係機関と接触を深め患者への支援を行う。</p>	

(注) 患者相談の概要については、相談内容を適切に分類し記載するとともに、相談に基づき講じた対策等があれば併せて記載すること。また、個人が同定されないよう配慮すること。

(様式例第 19-2) 地域における医療の確保を図るために特に必要であるものとして都道府県知事が定めた事項

都道府県知事が定めた内容
実施状況

(様式第 20)

その他の地域医療支援病院に求められる取組みに関する書類（任意）

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	有・無
・評価を行った機関名、評価を受けた時期 平成23年11月に財団法人日本医療機能評価機構による評価を受け、令和5年5月に更新認定を得ている。	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	有・無
・情報発信の方法、内容等の概要 当院ホームページ内に地域医療支援病院のページを設け、地域医療支援病院に求められる機能と当院の取組を紹介している。 また、毎月地域連携セミナーを開催し、医師や薬剤師などが医療従事者を対象に、当院の取組を紹介している（ただし、令和4年度は、コロナ禍のため毎月の実施はできなかった）。 さらに、平成26年度から医療機関向け情報誌を発行している。	

3 退院調整部門

① 退院調整部門の有無	有・無
・退院調整部門の概要 専従看護師1名、専任看護師4名、専任MSW（社会福祉士）1名を配置し、退院及び退院後の医療、介護、福祉サービス、転院に係る調整及び相談支援事業所等との連絡調整を行っている。	

4 地域連携を促進するための取組み

① 地域連携クリティカルパスの策定	有・無
・策定した地域連携クリティカルパスの種類・内容 青森県がん地域連携パスの策定に参画し、5大がん（胃がん、大腸がん、肝がん、乳がん、肺がん）の地域連携パスを運用している。 ・地域連携クリティカルパスを普及させるための取組み 紹介患者の多い医療機関等を訪問し、地域連携パスの主旨・運用方法を説明し、普及に努めている。	

オープンシステム登録医一覧表(医科一八戸)

登録No.	病 院 名	職 名	医 師 名	郵便番号	住 所	診 療 科	ベツト
1004	あらい整形外科リハクリニック	理事長	荒井 俊治	031-0081	八戸市柏崎5丁目5-17	整	無
1005	あらい整形外科リハクリニック	院長	荒井 久典	031-0081	八戸市柏崎5丁目5-17	整・リハ	無
1006	奥寺消化器科外科	理事長	奥寺 進	039-1101	八戸市大字尻内町字八百刈10-3	外・整・消・皮・肛・内	有
1007	春日井内科	院長	春日井 清	031-0802	八戸市小中野4丁目5-16	内・消	無
1009	さくら病院	院長	青木 直人	039-1105	八戸市大字八幡字上樋田8-1	精	有
1010	八戸マナクリニク	院長	岡田 元	031-0031	八戸市番町9-5協栄ビル2階	心療内科・精	無
1011	さしなみ小児クリニック	院長	差波 司	031-0004	八戸市南類家3丁目2-18	小・循	無
1013	八戸医療生活協同組合 八戸生協診療所	所長	竹本 照彦	031-0004	八戸市南類家1丁目17-2	内	無
1014	関口内科クリニック	院長	関口 孝	031-0833	八戸市大字大久保字西ノ平25-72	内・循・呼	有(19)
1015	高橋医院	院長	高橋 秀禎	031-0031	八戸市番町40	外・内・胃・肛	無
1018	内科 種市病院	院長	種市 良博	031-0023	八戸市大字是川字土間沢1	内	有(42)
1019	内科 種市病院	副院長	鳥畑 鴻次	031-0023	八戸市大字是川字土間沢1	内	有(42)
1020	長谷川内科胃腸科医院	院長	長谷川 泰正	031-0057	八戸市上徒士町2-1	内	有(16)
1021	長谷川内科胃腸科医院	医師	長谷川 晃子	031-0057	八戸市上徒士町2-1	内	有(16)
1022	吹上眼科	院長	久保 勝文	031-0003	八戸市吹上2丁目10-5	眼	有(3)
1024	本田整形外科クリニック	理事長	本田 忠	031-0802	八戸市小中野2丁目9-4	整・リウマチ・リハ	無
1025	丸山クリニック	院長	丸山 章	031-0823	八戸市湊高台5丁目24-3	外・肛・内	無
1026	美保野病院	院長	西山 弘文	031-0833	八戸市大字大久保字大山31-2	内・総合診療科	有(123)
1031	室岡整形外科病院	院長	室岡 孝信	031-0021	八戸市長者3丁目3-23	整	有(50)
1032	室岡整形外科病院	医局長	伊藤 幸夫	031-0021	八戸市長者3丁目3-23	整・泌	有(50)
1034	とみもと小児科クリニック	院長	冨本 和彦	031-0823	八戸市湊高台6丁目6-20	小	無
1035	みちのく記念病院	理事長・院長	石山 隆	031-0802	八戸市小中野1-4-22	内・リハ	有(200)
1036	みちのく記念病院	医師	石山 哲	031-0802	八戸市小中野1-4-22	精・神経	有(200)
1038	岸原病院	副院長	高 余州	031-0081	八戸市柏崎6丁目29-6	内・神経	有(93)
1039	岸原病院	副院長	東野 治仁	031-0081	八戸市柏崎6丁目29-6	内	有(93)
1040	岸原病院	副院長	鈴木 一	031-0081	八戸市柏崎6丁目29-6	内・神内	有(93)
1041	向井田胃腸科内科医院	副院長	向井田 英明	031-0821	八戸市白銀1丁目10-5	内	無
1042	橋本耳鼻科	院長	橋本 敏光	031-0823	八戸市湊高台5丁目20-18	耳鼻科	無
1043	八戸新井田クリニック	院長	池田 成徳	031-0816	八戸市新井田西2丁目1-25	泌・内・皮膚・リハ・麻	有(19)
1044	村田内科	院長	村田 貞幸	031-0816	八戸市新井田西2丁目7-8	循環器科・内科	無
1045	大里脳神経リハビリテーションクリニック	院長	大里 孝夫	031-0816	八戸市新井田西3丁目15-15	脳外・リハ・神内・内科	無
1046	於本病院	院長	於本 淳	031-0036	八戸市大工町10番地	内	有(50)
1047	於本病院	副院長	於本 晴美	031-0036	八戸市大工町10番地	内	有(50)
1048	おつとも脳神経クリニック	院長	乙供 道則	031-0081	八戸市柏崎4-14-48	脳外・放科・リハ・内・神	無
1049	ろくごう整形外科リハビリテーションクリニック	院長	六郷 知行	031-0802	八戸市小中野1-4-52	整形・リハ・リウマチ	無
1050	なかざわスポーツクリニック	院長	中澤 成史	031-0823	八戸市新井田字館下1	整形・リハ・リウマチ	無

登録No.	病 院 名	職 名	医 師 名	郵便番号	住 所	診 療 科	備 考
1051	東八戸病院	院長	秋山 弘之	031-0833	八戸市大久保西ノ平25-440	神経科・精神科	有(102)
1054	山田整形外科クリニック	院長	山田 史朗	031-0821	八戸市鏡町字浜屋7-29	整形	無
1056	湊病院	院長	工藤 清太郎	031-0813	八戸市大字新井田字松山下野場7-15	内・外	有(290)
1057	湊病院	副院長	工藤 一顕	031-0813	八戸市大字新井田字松山下野場7-15	内	有(290)
1058	船越内科医院	院長	船越 洪	031-0822	八戸市白銀町大沢頭19-1	内	無
1059	船越内科医院	副院長	船越 正行	031-0822	八戸市白銀町大沢頭19-1	内	無
1061	きどクリニック	院長	城戸 啓治	031-0821	八戸市白銀3丁目6-1	泌尿器科	有(16)
1062	すわクリニック	医師	後藤 高志	031-0803	八戸市諏訪1丁目1-9	婦人科	無
1063	八戸平和病院	院長	濱田 和一郎	031-8545	八戸市凌高台2丁目4-6	総合診療科	有(121)
1064	八戸平和病院	副院長	宮田 章正	031-8545	八戸市凌高台2丁目4-6	麻酔科	有(121)
1065	八戸平和病院	医局長	藤井 一晃	031-8545	八戸市凌高台2丁目4-6	整形外科	有(121)
1066	八戸平和病院	外科部長	森 達也	031-8545	八戸市凌高台2丁目4-6	外科	有(121)
1067	八戸平和病院	泌尿器科長	三浦 浩康	031-8545	八戸市凌高台2丁目4-6	泌尿器科	有(121)
1068	八戸平和病院	麻酔科長	窪田 武	031-8545	八戸市凌高台2丁目4-6	麻酔科	有(121)
1069	八戸平和病院	循環器科長	小泉 誠二	031-8545	八戸市凌高台2丁目4-6	循環器	有(121)
1070	八戸平和病院	消化器科医師	佐藤 正昭	031-8545	八戸市凌高台2丁目4-6	消化器科	有(121)
1072	八戸平和病院	泌尿器科医師	工藤 大輔	031-8545	八戸市凌高台2丁目4-6	泌尿器科	有(121)
1074	八戸平和病院	整形外科医師	中田 善博	031-8545	八戸市凌高台2丁目4-6	整形外科	有(121)
1075	岬台医院	院長	品川 博樹	031-0842	八戸市岬台2-6-5	内科・消化器内科	無
1076	はちのへファミリークリニック	院長	小倉 和也	031-0072	八戸市城下4丁目11-11	内科・小児科	無
1077	ひかり内科クリニック	院長	金田 泰一	031-0804	八戸市青葉3丁目31-5	内科	無
1078	はちのへ西脳神経クリニック	院長	真鍋 宏	039-1101	八戸市尻内町鴨ヶ池15-1	脳外・脳血管外科	無
1079	はちのへ西脳神経クリニック	副院長	加藤 孝顕	039-1101	八戸市尻内町鴨ヶ池15-1	脳外・脳血管外科	無
1080	青南病院	医師	千葉 潜	039-1104	八戸市田面木字赤坂16-3	精神・神経・内科	有(199)
1081	青南病院	医師	安ヶ平 忠也	039-1104	八戸市田面木字赤坂16-3	精神・神経・内科	有(199)
1082	青南病院	医師	千葉 良	039-1104	八戸市田面木字赤坂16-3	精神・神経・内科	有(199)
1083	青南病院	医師	川端 栄蔵	039-1104	八戸市田面木字赤坂16-3	精神・神経・内科	有(199)
1084	青南病院	医師	田名部 茂	039-1104	八戸市田面木字赤坂16-3	精神・神経・内科	有(199)
1085	青南病院	医師	呂 芳澤	039-1104	八戸市田面木字赤坂16-3	精神・神経・内科	有(199)
1086	青南病院	医師	深澤 隆	039-1104	八戸市田面木字赤坂16-3	精神・神経・内科	有(199)
1087	青南病院	医師	伊藤 友子	039-1104	八戸市田面木字赤坂16-3	精神・神経・内科	有(199)
1088	青南病院	医師	馬渡 晃弘	039-1104	八戸市田面木字赤坂16-3	精神・神経・内科	有(199)
1089	城下やえがき整形外科	医師	八重垣 誠	031-0077	八戸市城下4-4-18	整形外科	無
1090	白山台メンタルクリニック	医師	川端 栄蔵	039-1112	八戸市南白山台一丁目10-5	心療内科・精神科	無
1091	黒田内科胃腸科医院	医師	長谷川 達郎	031-0081	青森県八戸市柏崎3-7-18	内科・胃腸科・外科	無
1092	黒田内科胃腸科医院	医師	長谷川 裕子	031-0081	青森県八戸市柏崎3-7-18	内科・胃腸科・外科	無
1093	黒田内科胃腸科医院	医師	黒田 英克	031-0081	青森県八戸市柏崎3-7-18	内科・胃腸科・外科	無
1095	はちクリニック	医師	八森 久	031-0001	八戸市類家4丁目21-7	内科	無
1096	はせがわ心血管クリニック	医師	長谷川 一志	031-0821	八戸市大字湊町字下大久保道15-1	内科・循環器科	無

令和4年度 講演会・協議会等開催状況

番号	開催日	名称	対象	主催	講師	参加者数
1	10月12日	薬剤部地域連携セミナー 第1回薬剤管理指導業務症例勉強会 薬剤師の連携により問題解決に至った1症例 ～ロキソプロフェンによる無顆粒球症と、続発性真菌症への介入～	医療従事者／職員	薬剤部	薬剤師	23
2	10月22日	八戸市民公開講演会 高齢者のがん治療	一般市民	医事課	医師	38
3	11月9日	薬剤部地域連携セミナー 第2回薬剤管理指導業務症例勉強会 薬剤性肝障害疑いから、胆石症、原発性胆汁性胆管炎が指摘された1例	医療従事者／職員	薬剤部	薬剤師	16
4	11月30日	地域連携セミナー ご存じですか？今、注目のビタミンD ～転倒しないため今、自分のためにできること～	医療従事者／職員	医事課	検査技師	22
5	12月20日	薬剤部地域連携セミナー 第3回薬剤管理指導業務症例勉強会 がん終末期患者の骨転移痛に介入した1例	医療従事者／職員	薬剤部	薬剤師	20
6	12月21日	地域連携セミナー あなたの足と靴は合っていますか？ ～正しい靴選び～	医療従事者／職員	医事課	外部講師	26
7	1月13日	薬剤部地域連携セミナー 第4回薬剤管理指導業務症例勉強会 手足症候群に対して継続的な保湿指導を行い、改善に至った1例	医療従事者／職員	薬剤部	薬剤師	14
8	1月25日	地域連携セミナー WITH コロナ時代の在宅療養移行支援 ～運に左右されない地域をつくらう～	医療従事者／職員	医事課	外部講師 (看護師)	34
9	2月8日	薬剤部地域連携セミナー 第5回薬剤管理指導業務症例勉強会 カリメート経口液開始後高Ca血症を呈した症例に対する薬剤師の介入	医療従事者／職員	薬剤部	薬剤師	14
10	2月15日	地域連携セミナー 世界一有名な吸入麻酔薬?! ～クロロホルムの歴史と真実～	医療従事者／職員	医事課	医師	28
11	3月8日	薬剤部地域連携セミナー 第6回薬剤管理指導業務症例勉強会 新人薬剤師が、術後尿路感染症を経験した1例	医療従事者／職員	薬剤部	薬剤師	15
12	3月15日	地域連携セミナー がん診療と栄養士の関わり	医療従事者／職員	医事課	栄養士	17
13						
14						
15						